

卒業時到達目標ごとの自己評価表(4年間)結果一覧

平成30年度

N=98

I 看護を实践する		n(%)	
看護の原理	看護サービスの効果的提供のための看護組織とマネジメントについて理解できる。	あまり到達していない ほぼ到達している 到達している	3(3.1%) 75(76.5%) 20(20.5%)
	看護の学びを通して自分なりの看護観を形成する。	あまり到達していない ほぼ到達している 到達している	2(2.0%) 57(58.2%) 39(39.8%)
	さまざまな看護場面におけるさまざまな対象者に 応じた看護の役割・活動及び専門性を実践を通し て総合的・統合的に考えることができる。	あまり到達していない ほぼ到達している 到達している	3(3.1%) 71(72.4%) 24(24.5%)
ライフプロセスと看護	個人、家族、集団の健康レベルの回復、維持、増 進をはかるために、統合的に考え、看護が実践で きる。	あまり到達していない ほぼ到達している 到達している	3(3.1%) 68(69.4%) 26(26.5%)
II 人とつながる			
ヒューマンケアと看護倫理	様々な看護場面から他者のこころを理解すると共 に自己理解を深め、ヒューマンケアにおける人間 関係について考察できる。	あまり到達していない ほぼ到達している 到達している	2(2.0%) 68(69.4%) 28(28.6%)
III 健康とつながる			
統合体としての人間と健康	健康概念の観点から対象者の生活の支援を総合的 に評価し、考察することができる。	あまり到達していない ほぼ到達している 到達している	1(1.0%) 74(75.5%) 23(23.5%)
IV 社会とつながる			
ヘルスケアシステムと看護	さまざまな健康レベルにある対象者に必要な健康 支援の政策について理解を深めることができる。	あまり到達していない ほぼ到達している 到達している	4(4.1%) 68(69.4%) 26(26.5%)
V 未来につながる			
教養とキャリア発達1	自分の課題を解決し、自己の関心のある看護の課 題をさらに追求することができる。	あまり到達していない ほぼ到達している 到達している	8(8.2%) 63(64.2%) 27(27.6%)
	看護専門職としての将来の自分像を考えることが できる。	あまり到達していない ほぼ到達している 到達している	6(6.1%) 48(49.0%) 44(44.9%)